

# 地域保健医療計画 進捗状況

※ 疾病・事業の達成状況	
区分	評価内容
1	全体的に順調
2	比較的順調
3	努力を要する

圏域名	福山・府中二次保健医療圏
-----	--------------

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※	施策の方向		実施状況	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容			
1 がん対策	2	(1) 予防・検診・保健指導の推進	<p>○ 県、市町及び医師会等関係団体は、禁煙、食生活、運動等生活習慣が改善されるよう、住民への啓発を積極的に行います。また、県は、肝炎ウイルス検査の促進、肝炎治療費助成制度の周知を行います。</p> <p>○ 市町は、医師会等関係機関と連携して、がん検診の受診勧奨や広報活動を積極的に行い、受診率の向上に取り組むとともに、要精検者が確実に医療機関を受診する体制を整備します。</p> <p>○ がん対策サポートドクター（がんよろず相談医）、がん検診サポート薬剤師は、日常の診療等で、がん検診の受診勧奨、がん医療等に関する情報提供に努めます。</p>	<p>〔福山市〕</p> <p>○がん検診、特定健診及び肝炎ウイルス検診の同時受診を可能とし、日曜の集団健診の実施、ドラッグストア、スーパー等と連携した集団健診の実施、女性限定のレディース健診を実施するなど、受診しやすい健診の体制整備に努めた。</p> <p>○健康ふくやま21 フェスティバル等のイベントで肝炎ウイルス検診を実施することで啓発した。</p> <p>○国民健康保険加入者の特定健診受診券送付に併せて、がん検診受診券（有料）を送付した。</p> <p>○コールセンターを活用して、電話による個別受診勧奨を行い、電話不通の者に対して受診勧奨ハガキを送付した。</p> <p>○がん検診推進事業（子宮頸がん：20歳、乳がん：40歳）を実施し、がん検診の受診を推進した。</p> <p>○健診啓発パネル展、街頭啓発活動、ラジオによる受診勧奨等により、周知啓発を図った。</p> <p>○個別健診実施医療機関に、健診実施を知らせるポスターの掲示を依頼した。</p> <p>○福山市けんしんガイドを作成し、全戸配布した。</p> <p>〔府中市〕</p> <p>○受診率の向上に係る取組の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健診の自己負担額の無料化</li> <li>・ がん検診・特定健診を同時実施</li> <li>・ 個別および集団健診において肝炎ウイルス検査を実施</li> <li>・ 集団健診の休日実施</li> <li>・ 市民健康&amp;福祉まつりでの乳がん検診</li> <li>・ 民間企業による行動分析を活用した受診勧奨ハガキによる受診勧奨および電話勧奨</li> <li>・ 協会けんぽの被扶養者への受診勧奨</li> </ul> <p>○住民へ生活習慣改善を啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定保健指導、高血圧予防教室（年9回）、糖尿病予防教室（年6回）、メタボ予防教室（年2回）の実施</li> <li>・ ウォーキングマスターと共に、定例ウォーキング、みんなで歩</li> </ul>	<p>〔府中市〕</p> <p>○糖尿病予防教室、高血圧予防教室の内容を充実</p> <p>○個別がん検診について、令和元年度より紹介状（4部複写）にて一次医療機関及び市へ精密検査結果が戻る仕組みを構築</p> <p>○高校生への乳がんの健康教育を実施</p> <p>〔福山市薬剤師会〕</p> <p>○若年者の喫煙が電子化</p> <p>〔東部保健所福山支所〕</p> <p>○旧法表示の経過措置期間の終了（令和2年3月31日）</p>	引き続き施策を実施

			<p>こう会、ふれあいウォーキング等を通じたウォーキングの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業場でのウォーキングチャレンジ事業の実施</li> <li>・ふちゅう夢体操、府中焼きマンボ体操の普及啓発</li> <li>・講演会の実施（脳卒中、糖尿病性腎症等）7回</li> <li>・高校生へ乳がん及びたばこの害について健康教育の実施</li> <li>・若い時からの生活習慣病予防のため中学生健診の実施</li> <li>・民間女性団体による乳がん予防啓発活動の支援（市民健康&amp;福祉まつり）</li> </ul> <p>○がん検診要精検者への受診勧奨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の精検未受診者へ受診勧奨（手紙、電話、訪問）を実施</li> <li>・大腸がん検査要精検者へは、SIBを活用した受診勧奨を実施</li> <li>・個別がん検診について、令和元年度より紹介状（4部複写）にて一次医療機関及び市へ精密検査結果が戻る仕組みを構築</li> <li>・メディアを活用した大腸がん検診要精検者への受診勧奨を予定〔神石高原町〕</li> </ul> <p>○6月に17日間、町内4会場にて総合検診に併せてがん検診（集団）を実施した。</p> <p>○事前申し込み制とし、保健委員、自治振興会を通じて手引書、申込書を各戸へ配布し、周知した。</p> <p>○集団でのがん検診未受診者対象に、8月～3月の期間において個別がん検診を町内医療機関において実施した。</p> <p>○個別がん検診受診勧奨通知の送付（1,982人）</p> <p>○乳がん検診クーポン券受診再勧奨通知の送付（23人）</p> <p>○子宮がん検診クーポン券受診再勧奨通知の送付（23人）</p> <p>○がん検診の精検未受診者リストを作成し、文書にて勧奨を実施する。返信のない方へは、電話や訪問により再度受診勧奨を行う。</p> <p>○精検の受診状況を定期的に把握し勧奨を実施した。</p> <p>○40歳を対象に健診料金を無償化</p> <p>○総合健診に併せて、肝炎ウイルス検査を未実施者へ実施した。（C肝50人 B肝48人）</p> <p>陽性者へは、保健師が保健指導を実施している。（2名）</p> <p>〔府中地区医師会〕</p> <p>○パンフレット、ポスター等により、特定健診・がん検診を勧奨した。</p> <p>○府中市からの依頼で地域健康教育（高血圧予防・糖尿病予防など生活習慣病予防講演）に講師を派遣した。</p> <p>○府中市、福山市の健康福祉まつりにおける健康相談に医師・看護師を派遣した。</p> <p>○府中地域産業保健センター健康相談窓口で、担当医師による健診結果に基づく保健指導を実施した。</p> <p>○小冊子「定期的に受けましょう がん検診」を市民へ配布した。</p> <p>〔松永沼隈地区医師会〕</p> <p>○禁煙勧奨ポスターやイエローグリーンリボンポスターなどに</p>	
--	--	--	--	--

			<p>より、禁煙及び受動喫煙防止対策に取り組んだ。</p> <p>○福山市健診委員会や福山・府中地域保健対策協議会健康増進計画委員会に出席し、健診受診率向上のための協議を行った。</p> <p>〔深安地区医師会〕</p> <p>○特定健診、みなし健診について、医療機関へポスターを掲示し、受診率向上に取り組んだ。</p> <p>○福山市健診委員会及び福山・府中地域保健対策協議会健康増進計画委員会に出席し受診者向上のため協議した。</p> <p>〔福山市薬剤師会〕</p> <p>○2018年と同じく、広島県と広島県薬剤師会との協定による育成事業において育成されたがん検診サポート薬剤師を活用して、福山市主催の健康フェスティバル 2019 において、サポート薬剤師を活用した、受検勧奨とアンケートを実施した。</p> <p>○がん予防としてのたばこ対策に禁煙補助剤の説明、指導実施等を行った。</p> <p>○学校薬剤師による小・中学校での「タバコの害・防煙」に関する出前授業を実施した。</p> <p>○福山市条例「子どもと妊婦を受動喫煙から守る条例」そって、イエローグリーンリボン運動を中心に協力した。</p> <p>〔福山市民病院〕</p> <p>○肝疾患診療連携拠点病院として、肝臓病教室や出前講座を実施し、肝炎ウイルス検査の受診勧奨や予防啓発を行いました。</p> <p>〔福山医療センター〕</p> <p>○がん相談支援センターを開設した。</p> <p>○がんサロンミニレクチャーを開催した。「お薬のいろいろな投与方法について」(平成31年4月12日)、「がん治療中の便秘について」(令和元年5月10日)、「がん患者の就労支援」(令和元年6月14日)、「リンパ浮腫について」(令和元年7月12日)、「乳がんにおけるアピアランスケア」(令和元年9月13日)、「良い眠りについて」令和元年10月11日)、「アドバンスケアプランニングってご存知ですか?」(令和元年11月8日)、「がんに伴う痛みについて」(令和2年1月10日)、「食欲がないときの食事の工夫」(令和2年2月14日)、「認知症の予防」(令和2年3月13日)</p> <p>○禁煙外来を開設している。</p> <p>〔東部保健所福山支所〕</p> <p>○食生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育推進圏域連絡会議の開催(3月開催予定)。</li> <li>・市町の食育推進事業の効果的な実施に向けた指導助言。</li> <li>・食品関連業者に対する栄養成分表示等に関する指導助言(集団指導、個別指導、販売店への一斉点検)</li> <li>・管理栄養士保健所実習において、「20歳代の若者の適正な食品選択に資するための栄養成分表示の活用」をテーマに取り組むよう指導。</li> </ul>	
--	--	--	--	--

			<p>○禁煙</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改正健康増進法に基づく取組みの実施。</li> <li>・禁煙週間において、庁舎管理部署と連携し、敷地内禁煙及び禁煙支援のための啓発を行った。</li> <li>・東部福山地区内の県関係機関に啓発媒体の情報提供を行い、受動喫煙防止対策推進の機運を高めた。</li> <li>・飲食店に対し、チラシ配布及び関係団体の会報誌記事掲載等により、受動喫煙防止対策の周知を図った。</li> <li>・管内市町等への受動喫煙防止対策に係る指導助言（個別指導）。</li> </ul> <p>○肝炎対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肝疾患、肝炎対策に関するポスター掲示、リーフレットの配布等の普及啓発。</li> <li>・肝疾患コーディネーターを中心に、肝疾患及び肝炎ウイルス検査等に関する相談対応。</li> <li>・肝炎ウイルス検査陽性者に対する受診勧奨、フォローアップシステムや検査費用助成等の肝炎対策事業紹介及び市町と連携した保健指導、肝炎患者支援手帳の配布。</li> <li>・肝炎治療医療費助成制度、肝がん・重度肝硬変治療研究事業の啓発、申請時の相談対応及び申請受理。</li> </ul>		
2	(2) 医療体制の維持	<p>○ 圏域内のがん医療体制は整備されており、引き続き、がん診療機能を有する医療機関は、診断・治療に必要な検査及び患者の状態やがんの病態に応じた適切な治療を提供する体制の維持に努めます。</p> <p>○ がん診療連携拠点病院は、患者の状態に応じた手術、放射線療法及び化学療法等やこれらを組み合わせた集学的治療、院内がん登録に取り組みます。また、がん患者及びその家族に対する相談支援の体制を充実し、情報の収集・発信、患者・家族の交流の支援、仕事と治療の両立支援や就職支援、がん経験者の就労継続支援等を行います。</p> <p>○ がん診療連携拠点病院等医療機関は、口腔粘膜炎や術後肺炎・術後創部感染症などの副症状・合併症の予防・軽減を図るため、病院内の歯科や歯科医師会、歯科医療機関と連携し、周術期口腔機能</p>	<p>〔福山市歯科医師会〕</p> <p>○周術期における口腔管理について、福山市歯科医師会では、福山医療センター、福山市民病院、日本鋼管福山病院、中国中央病院、井上病院、楠本病院、大田記念病院、山陽病院、セントラル病院と連携を行っています。</p> <p>〔神石郡歯科医師会〕</p> <p>○周術期口腔機能管理の依頼があれば、かかりつけの歯科医療機関で対応している。</p> <p>〔福山市民病院〕</p> <p>○地域がん診療連携拠点病院として、福山・府中二次保健医療圏における質の高いがん医療の提供を行った。</p> <p>○手術、放射線治療及び薬物療法等を効果的に組み合わせた集学的治療を提供するとともに、診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療に取り組んだ。</p> <p>○院内がん登録に関して、がんの傾向・予後・治療効果等について調査、情報収集し、今後のがん診療に役立つよう情報提供を行った。</p> <p>○がん相談支援センターを開設し、患者等への情報提供、情報収集等の支援に取り組んだ。</p> <p>○がん相談支援センターにおいて、がん患者サロン、乳がん患者サロン等を開催した。</p> <p>○術後創部感染症などの副症状・合併症の予防・軽減を図るため、医科歯科連携による周術期口腔機能管理を行った。</p>		引き続き施策を実施

	管理を行います。	<p>〔福山医療センター〕</p> <p>○オープンカンファレンスを開催した。ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を臨床で活かす「人生の最終段階における医療・ケア決定プロセスに関するガイドライン」について（令和元年5月27日）、「当科におけるラムシルマブ約50例の使用経験～進行大腸癌化学療法副作用対策について～」（令和元年10月2日）、「大腸がん薬物療法－エビデンスとプラクティス－」（令和元年11月19日）、「消化器癌治療の方向性について」（令和元年12月13日）、「プレシジョン・メディスン時代のがん診療－遺伝性腫瘍診療とがんゲノム医療－」（令和2年1月24日予定）、「がん化学療法中の副作用軽減のための薬剤師の関わりについて（仮）」（令和2年3月10日予定）</p> <p>○年に1回、周術期口腔機能管理システムにおける内容で福山歯科医師会と連携協議会を開催している。</p> <p>○福山市歯科医師会と連携し、地域歯科医療機関との周術期口腔機能管理システムを稼働している。</p> <p>〔中国中央病院〕</p> <p>○がん相談員を配置し、ピアサポーターの導入や、ハローワークから職員を招いての就労支援相談、就労支援のための研修会を開催している。</p> <p>○福山歯科医師会と協力し、周術期口腔機能管理に取り組んでいる。</p> <p>○院内がん登録では、予後調査の実施や、QI研究の参加を通して、データの質向上に努めている。</p> <p>○前年度に更新した放射線治療機器を活用し、地域で集学的治療が可能な体制を構築している。</p> <p>○患者のがん進行に応じた化学療法を選択し、適切な治療に取り組んだ。</p> <p>〔日本鋼管福山病院〕</p> <p>○2019.04～ 子宮がん検診および経膈超音波の実施</p>		
2	(3) 緩和ケアの推進	<p>○がん診療連携拠点病院及びがん診療機能を有する医療機関は、緩和ケアチームの整備や外来での緩和ケアの推進を図ります。</p> <p>○がん診療連携拠点病院は、研修、カンファレンス、診療支援、地域連携クリティカルパスの活用等により在宅療養支援機能を有する医療機関等との連携を図ります。</p> <p>○在宅療養支援機能を有する医療機関等は、がん疼痛等に対する緩和ケア、看</p> <p>〔福山市医師会〕</p> <p>○福山市在宅医療・介護連携推進事業「在宅緩和ケア等推進業務」を受託し、在宅医療・介護相談「ローズネット」の設置し、関係機関との連携体制の構築・推進の検討を行った。</p> <p>〔府中地区医師会〕</p> <p>○緩和ケア研修会への参加を勧奨した。</p> <p>〔松永沼隈地区医師会〕</p> <p>○松永沼隈地区医師会在宅医療連携会（令和2年3月12日（木）開催予定）において、在宅医療の事例検討をはじめ、他施設の連携体制について協議し、当会医療機関と関係機関の連携体制の強化に努めた。</p> <p>〔深安地区医師会〕</p> <p>○緩和ケア研修会の参加を勧奨した。</p>		引き続き施策を実施

	取りを含めた 24 時間対応が可能な在宅医療の推進を図ります。	<p>〔福山市薬剤師会〕</p> <p>○広島県緩和ケア支援センターによる「緩和ケア支援薬剤師」養成研修に前年同様に 4 名派遣した。</p> <p>〔福山市民病院〕</p> <p>○緩和ケアセンターを開設し、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟、緩和ケア外来を統合して専門的緩和ケアを提供する体制を整備した。</p> <p>○がん診療連携合同カンファレンス、緩和ケア研修会、がん看護研修会等の研修会を開催した。</p> <p>〔福山医療センター〕</p> <p>○緩和ケアチームの新規介入患者数は年間 50 人以上である。</p> <p>○市民公開講座「よくわかる大腸がん」を開催（平成 31 年 2 月 9 日）</p> <p>○市民公開講座「最新の肺がんのすべて」を開催（令和 2 年 2 月 10 日）</p> <p>〔中国中央病院〕</p> <p>○緩和ケアチームの活動として、がんサロンやオープンカンファレンスの開催、今年度は当院の所在する町内会（御幸学区）と連携した地域健康講座での講演を開催している。</p> <p>○福山・府中圏域がん地域連携クリティカルパスを活用し、連携を図っている。</p> <p>〔日本鋼管福山病院〕</p> <p>○緩和ケア研修を修了した医師および専任の看護師による診療体制の構築</p> <p>〔地対協〕</p> <p>○在宅緩和ケア研修会を開催した。（第 1 回 令和 2 年 1 月 15 日 福山市民病院）（第 2 回 令和 2 年 2 月 5 日 福山すこやかセンター）</p>		
(4) がん医療連携の推進	○ がん診療連携拠点病院及びがん診療機能を有する医療機関は、地域連携クリティカルパスにより、他の医療機能を担う医療機関、歯科医療機関、介護保険施設等とがん医療連携を推進します。また、ひろしま医療情報ネットワーク（HM ネット）による地域連携クリティカルパスの運用・普及に努めます。	<p>〔府中地区医師会〕</p> <p>○連携パスへの普及、参加を勧奨した。</p> <p>〔福山市民病院〕</p> <p>○5 大がんを中心とした地域連携クリティカルパスの運用を行った。</p> <p>○HM ネットを活用して胃がんパス、肝疾患パスの運用を行った。</p> <p>〔福山医療センター〕</p> <p>○ひろしま医療情報ネットワーク（HM ネット）への参加を予定している。</p> <p>〔中国中央病院〕</p> <p>○5 大がんパスを活用し、他の医療機関と連携を行っている。</p> <p>〔日本鋼管福山病院〕</p> <p>○ひろしま医療情報ネットワーク（HM ネット）への参加を継続しています</p>		引き続き施策を実施

2 脳卒中対策	2	(1) 予防・健康診査・保健指導の推進	<p>○ 県、市町及び医師会等関係団体は、高血圧をはじめ糖尿病、脂質異常症等の生活習慣病の予防のため、喫煙、過度の飲酒等の生活習慣が改善されるよう、住民への啓発を積極的に行います。</p> <p>○ 市町は、医師会等関係機関と連携して、特定健康診査、特定保健指導の受診勧奨や広報活動を積極的に行うとともに、要精検者が確実に医療機関を受診する体制の整備を行います。</p>	<p>〔福山市〕</p> <p>○禁煙や正しい飲酒方法等の生活習慣病予防の健康教育・健康相談・啓発事業を実施した。</p> <p>○地区診断により、地域の健康課題に合わせた健康教育・健康相談を実施した。</p> <p>○小・中学校で喫煙・飲酒等防止教育を実施した。</p> <p>○世界禁煙デー及び禁煙週間に合わせて、市役所等の会場で禁煙パネル展を実施した。そのうち、1会場では禁煙相談、呼気中一酸化炭素濃度測定を実施した。</p> <p>○受動喫煙防止対策への関心を高めるための「たばこ川柳」を募集した。</p> <p>○令和2年2月に福山市医師会と共催で禁煙支援講演会の実施を予定している。</p> <p>○特定健康診査受診者のうち、特定保健指導対象者以外の生活習慣病ハイリスク者に対し、保健師が個別に家庭訪問や電話による受診勧奨を実施した。</p> <p>○健康ふくやま 21 フェスティバルや大型商業施設での啓発、地域での健康教育等、機会を捉えて特定健診受診勧奨を行った。</p> <p>○個別受診勧奨を実施するとともに、福山市けんしんガイドの全戸配布、広報・HP等でも啓発した。</p> <p>○特定健診や特定保健指導について、利用しやすい環境整備に努めた。</p> <p>〔府中市〕</p> <p>○住民へ生活習慣改善を啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導、高血圧予防教室（年9回）、糖尿病予防教室（年6回）、メタボ予防教室（年2回）の実施</li> <li>・ウォーキングマスターと共に、定例ウォーキング、みんなで歩こう会、ふれあいウォーキング等を通じたウォーキングの推進</li> <li>・事業場でのウォーキングチャレンジ事業の実施</li> <li>・ふちゅう夢体操、府中焼きマンボ体操の普及啓発</li> <li>・講演会の実施（脳卒中、糖尿病性腎症等）7回</li> <li>・高校生へ乳がんおよびたばこの害について健康教育の実施</li> <li>・若い時からの生活習慣病予防のため中学生健診の実施</li> <li>・歯周病検診の実施</li> </ul> <p>○受診率の向上に係る取組の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診の自己負担額の無料化</li> <li>・がん検診・特定健診を同時実施</li> <li>・集団健診の休日実施</li> <li>・民間企業による行動分析を活用した受診勧奨ハガキによる受診勧奨および電話勧奨</li> <li>・協会けんぽの被扶養者への受診勧奨</li> </ul> <p>○重症化予防に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診受診勧奨域の人への医療機関受診勧奨</li> <li>・糖尿病腎症重症化予防事業による保健指導、治療中断者への受</li> </ul>	<p>〔福山市〕</p> <p>○喫煙対策については、改正健康増進法の順次施行に基づき、取組を進めている。</p> <p>〔府中市〕</p> <p>○糖尿病予防教室、高血圧予防教室の内容の充実</p> <p>○高校生への乳がんの健康教育を実施</p>	引き続き施策を実施
---------	---	---------------------	---	--	---	-----------

			<p>診勧奨の実施。(保健指導参加者 15 名、治療中断者への受診勧奨 10 名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病腎症重症化予防事業修了者へのフォローの実施 〔神石高原町〕</li> </ul> <p>○6 月に 17 日間、町内 4 会場にて総合検診に併せて基本健診(循環器健診・集団)を実施した。</p> <p>○事前申し込み制とし、保健委員、自治振興会を通じて手引書、申込書を各戸へ配布し、周知した。</p> <p>○集団での特定健診未受診者対象に 10 月～12 月、個別特定健診を実施、その受診勧奨として勧奨通知を送付(865 人)</p> <p>○特定保健指導の該当者へは、案内通知の他、訪問、電話により勧奨を実施した。</p> <p>○血圧値の要指導及び受診勧奨レベルの人へはパンフレット送付を行い、保健師が訪問により指導、受診勧奨を行っている。</p> <p>○受診勧奨を行った人には、3 か月後のレセプトにて受診状況の確認を行う予定</p> <p>○40 歳を対象に健診料金を無料化 〔府中地区医師会〕</p> <p>○「脳卒中予防」「糖尿病予防」について、府中市と協力して地域健康教育を実施した。</p> <p>○生活習慣病予防に関する小冊子を市民に配布した。 〔備後脳卒中ネットワーク〕</p> <p>○10 月 26 日広島県民文化センターで、市民公開講座「脳卒中や認知症予防による健康寿命の延伸」を開催、脳卒中予防 10 か条の冊子等啓発資料を配布(参加者：一般市民 59 名)</p>	
(2) 救護・搬送の維持	<p>○ 県、市町、消防機関、医師会等関係団体は、脳卒中を疑うような症状が出現した場合、本人や家族等周囲にいる者が速やかに救急要請を行えるよう、住民に対して脳卒中に関する啓発を行います。</p> <p>○ メディカルコントロール体制の下で定められた病院前における脳卒中患者の救護のためのプロトコール(活動基準)に基づき、救急救命士を含む救急隊員は、適切な観察・判断・救急救命処置等を行うとともに、福山地区消防組合は、急性期医療を担う医療機関と連携して、現在の救急搬送体制の維持に努めます。</p>	<p>〔福山市〕</p> <p>○生活習慣病予防や疾病の早期発見・早期治療についての健康教育・健康相談・啓発事業を実施した。</p> <p>○地区診断により、地域の健康課題に合わせた健康教育・健康相談を実施した。 〔府中市〕</p> <p>○講演会、健康教育、健康相談で啓発活動を実施した。 〔福山市医師会〕</p> <p>○PCEC 講習会を開催した。(11 月 10 日)</p> <p>○ISLS を開催した。(11 月 3 日) 〔松永沼隈地区医師会〕</p> <p>○令和元年 9 月 12 日(木)開催の救急法等講習会において、「当院における神経救急の実態」というテーマで、脳神経センター大田記念病院の寺澤由佳 先生に脳疾患についてご講演いただき、地域住民や医療・介護従事者、学校関係者等への啓発を行った。 〔福山地区消防組合〕</p> <p>○今年度 10 月末で 225 回 6,908 人に対して応急手当の講習を実施した。講習会等で本人や周りにいる家族が脳卒中の初期症状に</p>	引き続き施策を実施	

		<p>早く気づき医療機関を受診するよう、住民に対して啓発を行っている。</p> <p>○傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準により、適切な搬送となるよう努めている。</p> <p>〔備後脳卒中ネットワーク〕</p> <p>○5月18日～5月19日ばら祭りで、「FAST マグネット」と脳卒中の予防啓発冊子等を1セットとし、好発年齢者を対象に配布(2日間で1500部配布)</p> <p>○11月10日PSEC講習会を福山市医師会と共同開催</p>		
(3) 脳卒中医療体制の維持	<p>○急性期を担う医療機関は、脳血栓溶解療法(t-PA)等専門的な治療、早期リハビリテーション治療体制の維持に努めます。</p> <p>○回復期を担う医療機関は、身体機能の早期改善を図るため、集中的なリハビリテーションの推進を図るとともに、再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理に努めます。</p> <p>○慢性期を担う医療機関は、生活機能の維持・向上のためのリハビリテーションを行い、在宅等への復帰及び日常生活の継続を支援するとともに、再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理に努めます。</p> <p>○急性期、回復期及び慢性期を担う医療機関は、誤嚥性肺炎等の合併症予防を図るため、歯科医療機関と連携して、周術期口腔機能管理に努めます。</p>	<p>〔福山市民病院〕</p> <p>○超急性期脳卒中加算の届出を行っており、脳血栓溶解療法(t-PA)等専門的な治療体制を構築している。</p> <p>○救命救急センターや集中治療室において、早期離床・リハビリテーション加算を届け出ており、早期リハビリテーション治療体制を構築している。</p> <p>〔福山医療センター〕</p> <p>○AEDを院内に全5台整備している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1階 会計窓口前 1台</li> <li>・1階 放射線科受付前 1台</li> <li>・2階 中央処置室 1台</li> <li>・7階 リハビリ室 2台</li> </ul> <p>○患者の病態に応じて、ICUやHCUにおいても他職種と協働で集中的なリハビリテーションを365日提供できる体制を構築している。</p> <p>〔日本鋼管福山病院〕</p> <p>○回復期リハビリテーション病棟において、該当の患者様の受け入れを継続して行っている。</p> <p>〔備後脳卒中ネットワーク〕</p> <p>○講演会、検討会等を開催し、急性期、回復期、維持期を担う病院および介護施設のスタッフと意見交換を行い、各期の役割や連携体制の維持管理を行った。</p>	<p>〔福山医療センター〕</p> <p>○AEDをリハビリ室に1台追加整備</p>	引き続き施策を実施
(4) 脳卒中医療連携の推進	<p>○急性期、回復期、慢性期を担う医療機関は、地域連携クリティカルパスにより、他の機能を担う医療機関、歯科医療機関、介護保険施設等と脳卒中医療連携の推進を図ります。また、ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)による地域連携クリティカルパスの運用・普及に努めます。</p>	<p>〔福山市民病院〕</p> <p>○地域連携クリティカルパスにより、他の機能を担う医療機関、歯科医療機関、介護保険施設等と脳卒中医療連携の推進を図った。</p> <p>〔日本鋼管福山病院〕</p> <p>○ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)への参加を継続している。</p> <p>〔備後脳卒中ネットワーク〕</p> <p>○医療連携を深め、患者データの共有化を図るため、従来使用していた「備後脳卒中地域連携パス」から「ひろしま脳卒中地域連携パス」への移行に向けて講演会や検討会を実施した。</p>		引き続き施策を実施

3 心筋梗塞等の心血管疾患対策	2	(1) 予防・健康診査・保健指導の推進	<p>○ 県、市町、医師会等関係団体は、高血圧をはじめ糖尿病、脂質異常症、歯周病等の生活習慣病の予防のため、喫煙、過度の飲酒等の生活習慣が改善されるよう、住民への啓発を積極的に行います。</p> <p>○ 市町は、医師会等関係機関と連携して、特定健康診査、特定保健指導の受診勧奨や広報活動を積極的に行うとともに、要精検者が確実に医療機関を受診する体制整備を行います。</p>	<p>〔福山市〕</p> <p>○ 禁煙や正しい飲酒方法等の生活習慣病予防の健康教育・健康相談・啓発事業を実施した。</p> <p>○ 特定健康診査受診者のうち、特定保健指導対象者以外の生活習慣病ハイリスク者に対し、保健師が個別に家庭訪問や電話による受診勧奨を実施した。</p> <p>○ 健康ふくやま 21 フェスティバルや大型商業施設での啓発、地域での健康教育等、機会を捉えて特定健診受診勧奨を行った。</p> <p>○ 個別受診勧奨を実施するとともに、福山市けんしんガイドの全戸配布、広報・HP 等でも啓発した。</p> <p>○ 特定健診や特定保健指導について、利用しやすい環境整備に努めた。</p> <p>〔府中市〕</p> <p>○ 住民へ生活習慣改善を啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域心臓いきいきセンター（福山市民病院内）が開催する「心臓いきいき市民公開講座」を後援</li> <li>・ 特定保健指導、高血圧予防教室（年 9 回）、糖尿病予防教室（年 6 回）、メタボ予防教室（年 2 回）の実施</li> <li>・ ウォーキングマスターと共に、定例ウォーキング、みんなで歩こう会、ふれあいウォーキング等を通じたウォーキングの推進</li> <li>・ 事業場でのウォーキングチャレンジ事業の実施</li> <li>・ ふちゅう夢体操、府中焼きマンボ体操の普及啓発</li> <li>・ 講演会の実施（脳卒中、糖尿病性腎症等）7 回</li> <li>・ 高校生へ乳がんおよびたばこの害について健康教育の実施</li> <li>・ 若い時からの生活習慣病予防のため中学生健診の実施</li> <li>・ 歯周病検診の実施</li> </ul> <p>○ 受診率の向上に係る取組の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健診の自己負担額の無料化</li> <li>・ がん検診・特定健診を同時実施</li> <li>・ 集団健診の休日実施</li> <li>・ 民間企業による行動分析を活用した受診勧奨ハガキによる受診勧奨および電話勧奨</li> <li>・ 協会けんぽの被扶養者への受診勧奨</li> </ul> <p>○ 重症化予防に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健診受診勧奨域の人への医療機関受診勧奨</li> <li>・ 糖尿病腎症重症化予防事業による保健指導、治療中断者への受診勧奨の実施。（保健指導参加者 15 名、治療中断者への受診勧奨 10 名）</li> <li>・ 糖尿病腎症重症化予防事業修了者へのフォローの実施</li> </ul> <p>〔神石高原町〕</p> <p>○ 6 月に 17 日間、町内 4 会場にて総合検診に併せて基本健診（循環器健診・集団）を実施した。</p> <p>○ 事前申し込み制とし、保健委員、自治振興会を通じて手引書、申込書を各戸へ配布し、周知した。</p>	<p>〔府中市〕</p> <p>○ 糖尿病予防教室、高血圧予防教室の内容を充実</p> <p>○ 高校生への乳がんの健康教育を実施</p>	引き続き施策を実施
-----------------	---	---------------------	---	---	---	-----------

			<p>○集団での特定健診未受診者対象に10月～12月、個別特定健診を実施、その受診勧奨として勧奨通知を送付（865人）</p> <p>○特定保健指導の該当者へは、案内通知の他、訪問、電話により勧奨を実施した。</p> <p>○要指導及び受診勧奨レベルの人へはパンフレット送付を行い、保健師が訪問により指導、受診勧奨を行っている。</p> <p>○受診勧奨を行った人には、3か月後のレセプトにて受診状況の確認を行う予定</p> <p>○40歳を対象に健診料金を無料化 〔府中地区医師会〕</p> <p>○生活習慣病発症の予防に向けての小冊子を作成し、市民へ配布した。 〔府中地区歯科医師会〕</p> <p>○喫煙は急性心筋梗塞の危険因子の一つである歯周病を進行させるため啓発活動を行っている。</p>	
(2) 救護・搬送の維持	<p>○ 県、市町、消防機関、医師会等関係団体は、心肺停止が疑われる症状が出現した場合、本人や家族等周囲にいる者が速やかに救急要請、心肺蘇生法等の処置を行えるよう、住民に対して心肺蘇生法、AEDの使用等の啓発を行います。</p> <p>○ メディカルコントロール体制の下で定められた心筋梗塞等の心血管疾患患者の救護のためのプロトコル（活動基準）に基づき、救急救命士を含む救急隊員は、適切な観察・判断・救急救命処置等を行うとともに、福山地区消防組合は、急性期医療を担う医療機関と連携して、救急搬送体制の維持に努めます。</p>	<p>〔府中地区医師会〕</p> <p>○市民向けの救急医療講演会を開催し、併せて消防署によるAED実技講習も実施した。医療関係者及び多くの市民が参加した。（6月）</p> <p>○救急の日に「救急法等講習会」を開催し、講演の後、併せて消防署による寸劇とAED実技講習も実施した。医療関係者及び多くの市民が参加した。（9月） 〔松永沼隈地区医師会〕</p> <p>○令和元年9月12日（木）開催の救急法等講習会において、地域住民や医療・介護従事者、学校関係者等に対して心肺蘇生（胸骨圧迫・人口呼吸・AED）の実技講習を行った。また、各医療機関に心肺蘇生法CAB+Dカードを配布し、受付等に設置していただき、普及啓発に努めた。 〔深安地区医師会〕</p> <p>○令和元年9月10日（火）に救急法等講習会を開催し、講演の後、消防署によるAED実技講習を実施した。市民の参加者79名に心肺蘇生法「CAB+Dカード」を配布し、また、各医療機関に配布し普及啓発に努めた。</p> <p>○各医療機関へAEDを設置している。 〔福山地区消防組合〕</p> <p>○今年度10月末で225回6,908人に対して応急手当の講習を実施した。講習会等で心肺蘇生の重要性や本人や周りにいる家族が心血管疾患の初期症状に早く気づき医療機関を受診するよう、住民に対して啓発を行っている。</p> <p>○傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準により、適切な搬送となるよう努めている。</p>	引き続き施策を実施	

		<p>(3) 心筋梗塞等の心血管疾患医療体制の維持</p> <p>○ 急性期を担う医療機関は、心筋梗塞等の心血管疾患が疑われる患者に対して、来院後速やかに専門的な治療を開始するとともに、合併症や再発の予防、在宅復帰に向けた心血管疾患リハビリテーション体制の維持に努めます。</p> <p>○ 回復期を担う医療機関は、在宅復帰のための心血管疾患リハビリテーション体制の維持に努めます。また、合併症併発時や再発時に緊急の内科的・外科的治療が可能な医療機関との連携を図ります。</p> <p>○ 慢性期を担う医療機関は、再発予防のための治療や基礎疾患・危険因子の管理を行い、在宅療養の継続を支援します。また、緊急時の除細動等急性増悪時への対応が可能な医療機関、合併症併発時や再発時に緊急の内科的・外科的治療が可能な医療機関と連携を図ります。</p> <p>○ 急性期、回復期及び慢性期を担う医療機関は、誤嚥性肺炎等の合併症予防を図るため、歯科医師会及び歯科医療機関と連携して、周術期口腔機能管理に努めます。</p>	<p>〔福山医療センター〕</p> <p>○患者の病態に応じて、ICU やHCU においても他職種と協働で集中的なリハビリテーションを 365 日提供できる体制を構築している。</p>		引き続き施策を実施
		<p>(4) 心筋梗塞等の心血管疾患医療連携の推進</p> <p>○ 急性期、回復期及び慢性期を担う医療機関は、他の医療機能を担う医療機関、歯科医療機関、介護保険施設等と心筋梗塞等の心血管疾患の医療連携の推進を図ります。</p>	<p>〔福山市民病院〕</p> <p>○心疾患に対する急性期医療を適切に実施し、他の医療機能を担う医療機関、歯科医療機関、介護保険施設等との医療連携の推進を図った。</p>		引き続き施策を実施
4 糖尿病対策	2	<p>(1) 予防・健康診査・保健指導の推進</p> <p>○ 県、市町及び医師会等関係団体は、適切な食習慣、適度な身体活動や運動習慣の改善及び糖尿病と歯周病との関連性について、住民への啓発を積極的に行います。</p> <p>○ 市町は、医師会等関係機関と連携して、特定健康診査、特定保健指導の受診</p>	<p>〔福山市〕</p> <p>○食生活、運動、歯と口腔等の生活習慣病予防の健康教育・健康相談・啓発事業を実施した。</p> <p>○特定健康診査受診者のうち、特定保健指導対象者以外の生活習慣病ハイリスク者に対し、保健師が個別に家庭訪問や電話による受診勧奨を実施した。</p> <p>○糖尿病性腎症重症化予防事業を実施し、保健指導を行った。事業終了者には、継続支援として電話による保健指導を行った。</p>	<p>〔府中市〕</p> <p>○糖尿病予防教室、高血圧予防教室の内容を充実</p> <p>○高校生への乳がんの健康教育を実施</p>	引き続き施策を実施

		<p>勧奨や広報活動を積極的に行うとともに、要精検者が確実に医療機関を受診する体制整備を行います。</p>	<p>○健康ふくやま 21 フェスティバルや大型商業施設での啓発、地域での健康教育等、機会を捉えて特定健診受診勧奨を行った。</p> <p>○個別受診勧奨を実施するとともに、福山市けんしんガイドの全戸配布、広報・HP 等でも啓発した。</p> <p>○特定健診や特定保健指導について、利用しやすい環境整備に努めた。</p> <p>〔府中市〕</p> <p>○住民へ生活習慣改善を啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導、高血圧予防教室（年 9 回）、糖尿病予防教室（年 6 回）、メタボ予防教室（年 2 回）の実施</li> <li>・ウォーキングマスターと共に、定例ウォーキング、みんなで歩こう会、ふれあいウォーキング等を通じたウォーキングの推進</li> <li>・事業場でのウォーキングチャレンジ事業の実施</li> <li>・ふちゅう夢体操、府中焼きマンボ体操の普及啓発</li> <li>・講演会の実施（脳卒中、糖尿病性腎症等）7 回</li> <li>・高校生へ乳がんおよびたばこの害について健康教育の実施</li> <li>・若い時からの生活習慣病予防のため中学生健診の実施</li> <li>・歯周病検診の実施</li> </ul> <p>○受診率の向上に係る取組の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診の自己負担額の無料化</li> <li>・がん検診・特定健診を同時実施</li> <li>・集団健診の休日実施</li> <li>・民間企業による行動分析を活用した受診勧奨ハガキによる受診勧奨および電話勧奨</li> <li>・協会けんぽの被扶養者への受診勧奨</li> </ul> <p>○重症化予防に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診受診勧奨域の人への医療機関受診勧奨</li> <li>・糖尿病腎症重症化予防事業による保健指導、治療中断者への受診勧奨の実施。（保健指導参加者 15 名、治療中断者への受診勧奨 10 名）</li> <li>・糖尿病腎症重症化予防事業修了者へのフォローの実施</li> </ul> <p>〔神石高原町〕</p> <p>○6 月に 17 日間、町内 4 会場にて総合検診に併せて基本健診（循環器健診・集団）を実施。</p> <p>○事前申し込み制とし、保健委員、自治振興会を通じて手引書、申込書を各戸へ配布し、周知した。</p> <p>○集団での特定健診未受診者対象に 10 月～12 月、個別特定健診を実施。その受診勧奨として勧奨通知を送付（865 人）</p> <p>○特定保健指導の該当者へは、案内通知の他、訪問、電話により勧奨を実施。</p> <p>○血糖値の要指導及び受診勧奨レベルの人へはパンフレット送付を行い、保健師が訪問により指導、受診勧奨を行っている。</p> <p>○受診勧奨を行った人には、3 か月後のレセプトにて受診状況の確認を行う予定。</p>		
--	--	---	---	--	--

			<p>○糖尿病性腎症重症化予防事業に29年度3人、30年度3人、本年度3人取組中。29年度・30年度の終了者に対してフォローを計画中である。</p> <p>○40歳を対象に健診料金を無料化 〔松永沼隈地区医師会〕</p> <p>令和元年11月15日の世界糖尿病デーに向けて、ポスター掲示などにより気運を高めた。 〔府中地区歯科医師会〕</p> <p>糖尿病等全身の健康状態に影響を与える歯周病リスクについて情報提供している。 〔福山医療センター〕</p> <p>○他職種と連携し、糖尿病教室を開催した。 ○妊娠糖尿病の方を対象に糖尿病教室を開催した。 ○世界糖尿病デーに合わせて院内でイベントを行った。</p>		
(2) 糖尿病医療の充実	<p>○ 初期・安定期治療を担う医療機関は、糖尿病の診断、生活習慣の指導、血糖コントロール等の治療の充実に努めます。</p> <p>○ 専門治療を行う医療機関は、各専門職種のチームによる食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた教育入院等の集中的な治療の充実に努めます。</p> <p>○ 急性合併症の治療を担う医療機関は、糖尿病昏睡等急性合併症の治療の充実に努めます。</p> <p>○ 慢性合併症治療を担う医療機関は、糖尿病の慢性合併症（糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害等）の専門的な検査・治療の充実に努めます。</p> <p>○ 糖尿病を治療する医療機関は、歯科医療機関と連携し、歯周病治療の推進に努めます。</p>	<p>〔府中地区医師会〕</p> <p>○医師会看護師がイベントに出向き、食後血糖値測定を市民に行い、血糖値スパイクの啓発に努めた 〔中国中央病院〕</p> <p>○多職種が連携し、糖尿病教室を開催した。 ○糖尿病認定看護師と糖尿病療養指導士による支援・指導を行っている。 〔日本鋼管福山病院〕</p> <p>○糖尿病認定看護師・糖尿病療養指導士による療養の支援・指導 ○糖尿病認定看護師による、地域の医療機関等の看護師・介護士を対象にした療養の支援・指導 ○特定行為のできる看護師による特定看護外来の実施 ○紹介患者様を含め、糖尿病腎症の患者様の定期的な指導 ○足病変予防のための継続的なフットケア</p>		引き続き施策を実施	
(3) 糖尿病医療連携の推進	<p>○ 糖尿病の予防・治療を行う医療機関、専門治療を行う医療機関、急性・慢性合併症治療を行う医療機関、歯科医療機関は相互に連携して、診療情報や治療計画の共有・連携を図ります。</p>	<p>〔府中地区歯科医師会〕</p> <p>○中等度から重度歯周病患者に対して医科医療機関の受診勧奨 〔福山医療センター〕</p> <p>○糖尿病センターとしてクリニック等より、令和2年1月現在54名を受け入れた。 〔日本鋼管福山病院〕</p> <p>○ひろしま医療情報ネットワーク（HM ネット）への参加を継続</p>		引き続き施策を実施	

				しています		
5 精神疾患 対策	2	(1) 予防及び早期受診・治療の推進	○ 県及び市町は、精神科医療機関等と連携して、精神疾患についての正しい知識の普及啓発、早期受診・治療を促進するとともに、精神保健福祉相談、家庭訪問等により精神障害者の支援を行うなど、地域の精神科医療機関を含めた保健・医療・福祉・警察・消防機関等の関係機関・関係団体のネットワークを構築します。また、歯科医療機関等と連携して、精神障害者の歯科医療の体制整備の推進に努めます。	<p>〔福山市〕</p> <p>○こころの健康づくりに関する理解を深めるため、精神保健福祉講演会や家族教室・交流会等を開催した。</p> <p>○精神科医師による精神保健福祉相談を開設した。(月2回)</p> <p>○こころの健康づくりに関する相談窓口一覧を記載したリーフレットを作成し、配布した。</p> <p>○自殺未遂者の再度の自殺企図を防止するため、自殺未遂者に対し、保健師が医療機関や関係機関と連携し、地域で再企図防止のために必要な支援(支援期間:6か月間)を開始した。</p> <p>〔府中市〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科医師・臨床心理士・精神保健福祉士による相談(毎月2回 ※上下地区では年3回)</li> <li>・精神保健福祉講演会(7・9・11・2月)</li> <li>・管理監督者研修会(10・11月)</li> <li>・メンタルサポーター研修会(8・9月)</li> <li>・精神保健福祉・傾聴ボランティアフォローアップ研修(9月)</li> <li>・心の支援ネットワーク会議、事業場健康づくり推進委員会等を開催し、関係機関の連携を強化</li> <li>・障害者歯科健診の実施</li> <li>・自殺予防キャンペーンの実施(9月・3月)</li> <li>・自殺対策計画の策定</li> </ul> <p>〔神石高原町〕</p> <p>○心の健康相談、アルコール相談、家族機能相談、ひきこもり相談を活用しながら、必要なケースは専門医療機関と連携しながら受診・診療へ繋げている。</p> <p>○警察や消防機関とも連携共有を行い、地域ケア会議等でネットワークの構築に努めている。</p> <p>〔府中地区医師会〕</p> <p>○府中地域産業保健センターとして、メンタルヘルス相談日(年3回)を開催した。</p> <p>○府中市の依頼で健康教育(うつ自殺対策、認知症予防)に講師を派遣した。</p> <p>○メンタルヘルスパンフレットを配布した。</p> <p>〔東部保健所福山支所〕</p> <p>○精神保健福祉相談 定例相談 所内12回、府中市2回、神石高原町6回開催</p> <p>○圏域内の相談窓口一覧の作成配布</p> <p>○必要時、市町と協力し家庭訪問指導</p>	<p>〔福山市〕</p> <p>○2019年4月から精神保健福祉相談を月3回から月2回に変更した。</p> <p>○2019年12月から自殺未遂者支援事業を開始した。</p> <p>〔府中市〕</p> <p>○自殺対策計画を策定した。</p>	引き続き施策を実施
		(2) 精神科医療の充実	○ 精神科医療機関は、多様な精神疾患に対応できる専門医の養成等により、患			引き続き施策を実施

	者の状態に応じて適切な精神科医療の充実に努めます。また、精神科医、薬剤師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理技術者等多職種による支援を行います。			
(3) 精神科救急医療の充実	<p>○ 精神科救急医療施設は、緊急に医療を必要とする精神障害者に迅速かつ適正な医療の提供に努めます。また、精神症状悪化時等の緊急時の対応や連絡体制の確保に努めます。</p> <p>○ 精神科医療関係者、救急医療関係者、消防関係者等は、精神疾患と身体疾患の合併症患者を円滑に救急搬送するため、会議等により情報共有を行い、連携・支援体制の充実を図ります。</p> <p>○ 「精神科医療機関と一般医療機関等の連携を含め、身体合併症患者に対する医療の確保に努めます。</p>	<p>〔東部保健所福山支所〕</p> <p>○ 圏域の関係者を対象とした、精神障害者緊急時支援体制等に関する関係者連絡会議を開催した。(令和元年6月20日)</p>		引き続き施策を実施
(4) 認知症対策の推進	<p>○ 市町は、認知症についての正しい知識の普及啓発、早期受診・治療を促進します。また、認知症に関する相談、家庭訪問等により認知症患者及びその家族の支援を行います。</p> <p>○ 市町は、医師会と連携して、認知症初期集中支援チームによる地域で認知症が疑われる方の支援を行います。</p> <p>○ 認知症疾患医療センター・支援医療機関は、電話等による専門医相談、認知症疾患に対する鑑別診断・初期対応、認知症疾患の周辺症状や身体合併症への急性期対応、保健医療関係者への研修等を行います。</p> <p>○ もの忘れ・認知症相談医（オレンジドクター）は、認知症に関して気軽に相談できる体制の充実を図ります。</p> <p>○ 歯科医師会は、認知症の対応能力を</p>	<p>〔福山市〕</p> <p>○ 認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を見守り、支援するための認知症サポーター養成講座を、地域・企業・小中学校等で実施した。また、養成修了者を対象に認知症サポーターステップアップ研修を実施し、地域でのボランティア活動を推進した。</p> <p>○ 認知症サポーター養成講座の講師を務めるキャラバン・メイトの資質向上のため、研修会及び連絡会を実施した。</p> <p>○ 認知症患者やその疑いのある人及び家族に対し、地域包括支援センターや認知症地域支援推進員等と連携しながら、家庭訪問等による支援を実施した。</p> <p>○ 認知症専門医の指導で複数の専門職が自宅を訪問し支援する「福山市認知症初期集中支援チーム」を5ブロックに5チーム設置し、相談支援活動のほか、関係機関や専門職への周知啓発を行った。(4法人に委託)</p> <p>○ 認知症の人と家族・医療・介護をつなぐコーディネーターの役割を担う「福山市認知症地域支援推進員」7人を7つの地域包括支援センターに配置し、相談支援や地域での認知症理解の促進を図った。(7法人に委託)</p> <p>○ 認知症講演会を実施した。</p> <p>○ 認知症支援推進会議を開催した。</p>		引き続き施策を実施

	<p>備えた歯科医師の育成に努めます。また、認知症の対応能力を備えた歯科医師は、認知症の疑いのある外来患者の初期治療に繋げるとともに、在宅患者にはシームレスな歯科治療の実施及び口腔管理を多職種と連携しながら行います。</p> <p>○ 薬剤師会は、認知症の対応能力を備えた薬剤師の育成に努めます。また、認知症の対応能力を備えた薬剤師は、認知症の疑いのある患者の初期治療に繋げるとともに、認知症患者の状態に応じた適切な薬学的管理を行います。</p>	<p>○MCIを含む軽度者を対象とした認知症予防教室をモデル事業として実施した。</p> <p>〔府中市〕</p> <p>○市民を対象とした認知症予防教室を開催した。</p> <p>○認知症疾患医療センター等の医療機関と連携し、早期相談・早期受診を促進した。</p> <p>○かかりつけ医と連携を図り、認知症疾患専門医療機関受診を支援した。</p> <p>○かかりつけ医、認知症疾患専門医療機関、介護支援専門員、介護保険サービス事業者等関係機関との調整を図り、本人やその家族への支援を行った。</p> <p>○圏域ごとに認知症初期集支援チームを継続設置、活用し医療機関との連携のもと認知症の人とその家族への対応を強化した。</p> <p>○チーム員の意見交換会を開催し、情報共有やチームの在り方について検討した。</p> <p>○認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を見守り、支援するための認知症サポーター養成講座・を地域・企業等で実施した。</p> <p>○上級認知症サポーターを養成しボランティア活動につなげた</p> <p>○地域包括支援センターへ認知症地域支援推進員を3名配置し、認知症の理解促進のための認知症にやさしい町づくりイベント、認知症高齢者や家族の支援、認知症家族会の集いへの参加や認知症カフェの立上げ支援等、認知症家族教室の開催等の支援を行った。</p> <p>〔神石高原町〕</p> <p>○認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を見守り、支援するための認知症サポーター養成講座を地域、学校等で実施した。</p> <p>○認知症初期集中支援チームを設置し、毎月ケース検討を行っている。</p> <p>○神石高原町立病院物忘れ外来と連携し、早期相談、受診の促進を図った。</p> <p>○認知症地域支援推進員とチーム員で訪問し、早期受診勧奨及び認知症予防教室への参加を促した。</p> <p>○高齢者徘徊 SOS ネットワークへの登録推進を図った。</p> <p>〔福山市医師会〕</p> <p>○福山市より認知症初期集中支援チーム事業を受託し、地域で認知症が疑われる方を適切な医療や介護サービスに結び付ける支援活動やケアカフェ等に参加し、認知症予防に関する啓発活動を実施しました。</p> <p>○多職種による認知症事例検討会を行い、支援チームの周知と関係者との連携を図りました。(8月1日)</p> <p>〔府中地区医師会〕</p> <p>○福山市から認知症地域支援推進員事業を受託し、地域で認知症</p>		
--	---	--	--	--

		<p>が疑われる方を適切な医療・介護サービスに結び付けるための支援を行った。</p> <p>〔松永沼隈地区医師会〕</p> <p>○認知症初期集中支援チーム事業を福山市より受託し、医療機関や介護事業所、民生委員等と連携を取りながら、認知症が疑われる方の早期発見、早期治療につなげられるよう努めた。</p> <p>〔深安地区医師会〕</p> <p>○福山市より認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員事業を受託し、地域で認知症が疑われる方や家族の相談を受け、医療介護サービスに繋げるための支援を行った。</p> <p>○認知症カフェ「メモリーかも」「メモリーカフェかんなべ」を月に1回2箇所の会場で交互に開催した。</p> <p>〔福山市薬剤師会〕</p> <p>○広島県との共催にて認知症対応能力向上研修会に福山市19名府中市1名計20名の育成が出来、前年度までの90名と合わせて110名の薬剤師育成ができた。</p> <p>〔神石郡歯科医師会〕</p> <p>○認知症とオーラルフレイルの関係について周知するため、オーラルフレイルについての講演会を実施した。</p> <p>〔府中市社会協議会〕</p> <p>○10月、社協全職員を対象とした認知症サポーター研修を実施した。</p> <p>○市内全戸配布の社協広報誌に、認知症サポートの取組状況について掲載した。</p>		
(5) 地域生活への移行支援	<p>○ 県及び市町は、退院前会議を開催し、措置入院患者等の退院後の生活支援、病状悪化の防止に努めます。また、県は、市町及び医療、福祉、介護等関係機関・関係団体と連携して、精神障害者ができる限り住み慣れた地域で生活を継続できるよう協議の場を設置するとともに、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に取組みます。</p>	<p>〔福山市〕</p> <p>○退院後支援ガイドラインに基づき、措置入院者等が退院後に地域で円滑に社会復帰でき、また病状悪化を防ぐことができるように、支援計画（支援期間：6か月間）を作成し、支援を行った。</p> <p>〔府中市〕</p> <p>○メンタルヘルス支援ネットワーク実務者会議（3回）で、本人・家族や支援者が活用するための社会資源一覧の作成にむけ取り組んだ。</p> <p>○事業場健康づくり推進委員会（6月）を開催し、事業場のうつ・自殺対策を協議し、事業を推進した。また事業所に出向いて行う健康教育について周知を強化した。</p> <p>○福山・府中地域精神障害者地域生活支援推進協議会に委員として参加し協議を行った。</p> <p>○措置入院後のガイドラインに基づき、保健所と連携し退院後支援を行っている（2019年度：4件）</p> <p>〔神石高原町〕</p> <p>○県と協力して、訪問等により措置入院患者の退院後の生活支援や病状悪化の防止に努めている。</p>	<p>〔福山市〕</p> <p>○2019年4月から退院後支援を開始した。</p> <p>〔府中市〕</p> <p>○措置入院後のケースは、地区担当と精神保健担当の2名で対応し、支援を強化した。</p> <p>〔府中市社会協議会〕</p> <p>○「認知症カフェ」前年度4カ所から1カ所増</p>	引き続き施策を実施

			<p>〔府中市社会協議会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「認知症カフェ」府中市内5ヵ所、それぞれ月1回程度の開催</li> <li>○個別ケース毎に、退院後支援に係る検討会議への出席</li> </ul> <p>〔東部保健所福山支所〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福山・府中地域精神障害者地域生活支援推進協議会の設置及び開催（第1回 10月24日、第2回 未定）、研修会の開催 1月30日</li> <li>○広島県精神障害者の退院後支援に関するガイドラインに基づく、措置入院者等の退院後支援の実施（H31.1月～）4事例</li> <li>○措置入院者の退院前会議</li> </ul>		
6 救急医療 対策	2	(1) 病院前 救護活動の 推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県、市町、消防機関、医師会等関係団体は、患者や家族等周囲にいる者が速やかに救急要請及び心肺蘇生法が行えるよう、講習会等により住民への啓発を積極的に行います。</li> <li>○ メディカルコントロール体制の下で定められた病院前における救護のためのプロトコル（活動基準）に基づき、救急救命士を含む救急隊員は適切な観察・判断・救急救命処置等を行い、急性期医療を担う医療機関への適切な救急搬送に努めます。</li> <li>○ 圏域内の救急搬送・救急医療体制は整備されていますが、高齢化の進展に伴い、救急患者の増加が予想され、引き続き、救急患者の適正な搬送・受入を行うため、現在の救急搬送・救急医療体制を維持します。</li> <li>○ 福山・府中圏域メディカルコントロール協議会は、救急救命士等の育成を行うとともに、救急活動の事後検証等を行います。また、福山市医師会は、福山地区消防組合等と連携して、「福山方式救急病名登録システム」により、実施基準による救急搬送及び受入データの分析・評価を行い、必要に応じて実施基準の見直しを行います。</li> <li>○ 福山・府中地域保健対策協議会及び</li> </ul>	<p>〔福山市〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○救急医療週間に各地区医師会が行う講演や心肺蘇生に関する講演会について、広報紙や広報ラジオ、ホームページで周知を行った。</li> </ul> <p>〔府中市〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○救急車の適正な利用に向けた住民啓発のため、出前講座を設置した。</li> </ul> <p>〔神石高原町〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○救急要請の方法について、出前健康教育や相談・訪問など、いろいろな機会を捉えて、わかりやすく説明するように努めている。</li> </ul> <p>〔福山市医師会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○救急医療体制の充実のため、福山市医師会 I C L S 講習会を開催し、医療従事者の資質向上を図った。（6月23日、9月29日、3月29日）</li> <li>○ICLS インストラクターの養成を目的とした福山市医師会 ICLS 講習会指導者養成ワークショップを開催した。（6月22日）</li> <li>○PCEC 講習会を開催した。（11月10日）</li> <li>○ISLS を開催した。（11月3日）</li> </ul> <p>〔松永沼隈地区医師会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和元年9月12日（木）開催の救急法等講習会において、地域住民や医療・介護従事者、学校関係者等に対して心肺蘇生（救急要請から胸骨圧迫・人口呼吸・AED使用までの一連の流れ）の実技講習を行った。また、各医療機関に心肺蘇生法 CAB+D カードを配布し、受付等に設置していただき、普及啓発に努めた。</li> </ul> <p>〔深安地区医師会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和元年9月10日（火）開催の救急法等講習会において、講演の後、消防署による心肺蘇生法（救急要請から胸骨圧迫、人口呼吸、AED使用までの一連の流れ）の実技講習を行い、市民の参加者79名に心肺蘇生法「CAB+D カード」を配布した。</li> </ul> <p>〔福山地区消防組合〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今年度10月末で225回6,908人に対して応急手当の講習を実施した。講習会等で本人や周りにいる家族が適切に救急要請及び</li> </ul>	引き続き施策を実施

		<p>福山・府中圏域メディカルコントロール協議会は、救急搬送の実態の共有及び課題解決に向けて検討を行うとともに、救急医療情報シートを活用した高齢者の救急搬送の推進及び救急車の適正利用の啓発を積極的に行います。</p>	<p>応急処置が実施できるよう、住民に対して啓発を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準により、傷病者を適切に搬送するよう努めている。</li> <li>○福山府中圏域メディカルコントロール協議会では、今年度6回計画した救急活動の事後検証を10月末までに3回実施している。</li> <li>○高齢者の搬送をより迅速に適切に行うため、高齢者施設に対して救急医療情報シートの使用について啓発を行っています。</li> </ul> <p>〔福山医療センター〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「令和2年度救急救命士病院実習」を行う予定（令和2年1月20日～1月29日）</li> </ul> <p>〔中国中央病院〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福山北地域の救急隊と救急搬送症例検討会を年二回開催し、病院と消防の協力体制強化を図っている。</li> </ul>		
	(2) 救急医療体制の維持	<p>【初期救急医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市町、医師会、歯科医師会等は、在宅当番医制、福山夜間成人診療所、福山夜間小児診療所及び福山市歯科医師会口腔保健センターでの休日応急診療により、休日・夜間の初期救急医療を確保します。また、入院等が必要な患者への対応に備え、二次救急医療機関等との連携を図ります。</li> </ul> <p>【二次救急医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市町、医師会等は連携して、病院群輪番制により二次救急医療体制の維持に努めます。また、空床確保対策事業により、病院群輪番病院での受入が困難な患者への救急医療の確保に努めます。</li> <li>○二次救急医療機関は、患者の状態に応じた適切な医療の提供に努めます。また、対応が困難な重症救急患者への対応に備え、三次救急医療機関等との連携を図ります。</li> </ul> <p>【三次救急医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福山市民病院救命救急センターは、緊急性・専門性の高い医療や重症外傷等の複数の診療領域にわたる疾病等高度な専門的医療の提供に努めます。また、急性期を脱した患者で重度の後遺症等によ</li> </ul>	<p>〔福山市〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○【初期救急医療】 在宅当番医制、福山夜間成人診療所及び福山市歯科医師会口腔保健センターでの休日等応急診療により、休日・夜間の初期救急医療を確保した。</li> <li>○【二次救急医療】 病院群輪番制により二次救急医療体制の維持を図るとともに、空床確保事業により、病院群輪番病院での受入が困難な患者への救急医療を確保した。</li> </ul> <p>〔府中市〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地区医師会と連携し、休日当番医制等初期救急医療体制の確保に努めるとともに、広報等を通じ当番医を周知</li> <li>○地区医師会と連携し、病院群輪番制により二次救急医療体制を維持している。</li> <li>○地方独立行政法人府中市病院機構と連携し、救急医療体制の維持に必要な医師の確保を推進している。</li> <li>○中山間地域の救急患者搬送の迅速化に向けた救急搬送専用ヘリポートの維持</li> </ul> <p>〔神石高原町立病院〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○救急告示医療機関として、福山・府中地区二次救急医療機関と連携を図りながら、町内の救急患者の受入れを行っている。</li> <li>○消防署との連携を強化し、スムーズな救急搬送体制を図っている。</li> </ul> <p>〔福山市医師会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○救急医療体制の充実のため、関係機関の協力により、休日当番医体制を実施した。休日診療は、内科2・小児科1の3医療機関体制で運営した。</li> <li>○平成20年度からインフルエンザや感染症胃腸炎などで患者が多くなる時期（12月15日から3月8日まで）に限り、小児科を1医療機関増やして実施するようにした。</li> </ul>		引き続き施策を実施

	<p>り、在宅への復帰等が困難な患者に対応するため、慢性期を担う医療機関等と連携を図ります。</p> <p>○ 福山市民病院救命救急センターは、医師、看護師等の医療従事者に必要な研修や福山・府中圏域メディカルコントロール協議会が実施する救急救命士等の実習、研修等に協力し、地域の救命救急医療体制の維持に努めます。</p>	<p>○外科系患者の休日受診が増えているため、可能な限り外科系当番医を追加設置した。</p> <p>○福山夜間成人診療所の運営に協力した。</p> <p>○福山夜間小児診療所の365日準夜帯の運営を継続し、事例研修会を行うなど二次救急医療機関との連携を図った。</p> <p>○消防と定例会議を開催し、連携・情報共有を行った。</p> <p>○救急小冊子を作成し、医療機関へ配布した。</p> <p>○腹部外科緊急手術の現状を把握し、ネットワークの構築を協議するため、当会救急委員会の中に腹部外科救急小委員会を立ち上げた。</p> <p>〔府中地区医師会〕</p> <p>○休日当番の運営（調整、広報、実施）を行った。</p> <p>○福山夜間成人診療所の運営及び医師の出務に協力した。</p> <p>○救急小冊子を作成し、医療機関へ配布した。</p> <p>〔松永沼隈地区医師会〕</p> <p>○休日当番医制への参加</p> <p>○福山夜間成人診療所、福山夜間小児診療所の医師の出務に協力した。</p> <p>○二次病院群輪番制への参加</p> <p>〔深安地区医師会〕</p> <p>○関係機関の協力により休日当番医を実施し、休日診療は1医療機関体制で運営した。</p> <p>○夜間成人診療所の運営及び医師の出務に協力した。</p> <p>〔神石郡歯科医師会〕</p> <p>○神石郡歯科医師会は、当番医制の休日診療体制をとっていない。</p> <p>〔福山市歯科医師会〕</p> <p>○福山市歯科医師会口腔保健センターでは、日曜日、祝祭日、年末年始、お盆に応急歯科診療を実施している。</p> <p>〔福山市民病院〕</p> <p>○救命救急センターとして、24時間体制でより重篤な三次救急の患者に対応した。</p> <p>○ヘリポートも備えるとともに、山陽自動車道福山東ICに近く、県東部に位置することから、尾道・三原を含む県東部、さらには笠岡・井原地区までを包含した広域エリアを対象としている。</p> <p>○福山市民病院救命救急センター連絡協議会を組織し、医療機関及び消防機関で協議、協力体制を構築している。</p> <p>○平成30年12月よりドクターカーを運行開始し、救急現場へ医師等を派遣することで、救命率の向上に努めている。また、令和元年11月1日よりキーワード方式を導入し、効果的な救命救急医療体制の整備に努めている。</p> <p>〔福山医療センター〕</p> <p>○救急医療体制の更なる強化のため、令和元年5月よりHCU5床を稼働させた。</p>		
--	--	--	--	--

		<p>○救急搬送車の購入（令和2年5月納品予定）に伴い、転院搬送等の機能強化を図っていく。</p> <p>〔日本鋼管福山病院〕</p> <p>○二次救急病院輪番制へ引き続き参加</p> <p>○必要に応じて、三次救急医療機関（福山市民病院）と連携〔地対協〕</p> <p>○各地区医師会と福山地区消防組合が共催する「救急法等講習会」の支援（後援）を行った。</p> <p>○医療施設、介護施設職員を対象とした高齢者救急搬送説明会を開催した。</p>		
(3) 住民への情報提供	<p>○ 県、市町、医師会等関係団体は、住民に対して広島県救急医療情報ネットワークシステムの普及、救急車の適正な利用、救急医療機関の適切な受診等に関する啓発を積極的に行います。</p>	<p>〔福山市〕</p> <p>○適正受診や救急車の適正利用について広報紙や広報テレビ、広報ラジオ、ホームページ、市民出前講座において啓発を行った。</p> <p>〔府中市〕</p> <p>○救急車の適正な利用に向けた住民啓発のため、出前講座を設置した。</p> <p>〔神石高原町〕</p> <p>○ポスターの掲示予定</p> <p>〔福山市医師会〕</p> <p>○ホームページ、メールマガジンを活用し、休日当番医情報などの広報を行った。</p> <p>○大型連休（GW・盆・年末年始）の診療体制について会員医療機関へアンケートを実施し、公開許可をえた情報は、医師会ホームページへ公開した。</p> <p>○救急講演会（市民公開講座）を開催した。（11月4日）</p> <p>〔松永沼隈地区医師会〕</p> <p>○救急車の適正利用についてのポスターを掲示し、適正利用について啓発した。</p> <p>〔深安地区医師会〕</p> <p>○救急車の適正利用について医療機関へポスターを掲示し、周知した。</p> <p>〔地対協〕</p> <p>○各地区医師会と福山地区消防組合が共催する「救急法等講習会」の支援（後援）を行った。</p> <p>○救急車の適正利用を促進するため、医療機関、介護施設等関係機関へ地域住民向けポスターを配布し、掲示を依頼した。</p> <p>○医療施設、介護施設職員を対象とした高齢者救急搬送説明会を開催した。</p>		引き続き施策を実施
(4) 県境を越えた医療連携の推進	<p>○ 当圏域と井原・笠岡地域は、従来から、消防及び医療機関が連携して相互に県境を越えた救急患者の搬送や受け入れ</p>	<p>〔福山市〕</p> <p>○広島・岡山県境を越えた医療広域連携会議において、関係機関との情報共有等を行う。（1月に文書開催予定）</p>		引き続き施策を実施

			<p>を行っており、引き続き、広島・岡山県境を越えた医療広域連携会議等により、当圏域と井原・笠岡地域の救急搬送・救急医療の情報共有や検討を行い、県境を越えた医療連携の推進を図ります</p>	<p>○引き続き、福山地区の輪番情報を井笠地域の消防組合と共有している。</p>		
7災害時における医療対策	2	<p>(1) 災害時における医療救護体制の充実</p>	<p>○ 災害拠点病院は、災害発生時に、重篤救急患者の救命医療を行うために必要な施設、設備及び医療従事者の確保に努めます。また、災害派遣医療チーム（DMAT）等災害医療に精通した医療従事者の育成に努めます。</p> <p>○ 災害拠点病院以外の医療機関は、広域災害救急医療情報システム（EMIS）への加入、業務継続計画の作成等により、災害発生時に、早期に診療が行える体制の整備に努めます。</p> <p>○ 市町は、災害拠点病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会等関係団体と連携体制を整備するとともに、災害対応訓練等を行い、災害時における医療救護体制の充実を図ります。</p>	<p>〔福山市〕</p> <p>○福山市災害医療救護協議会を開催し、関係機関との情報共有等を行った。</p> <p>○福山市災害医療救護協議会等の主催により、EMIS訓練を3回開催した。</p> <p>○福山市災害医療救護協議会等の主催により、豪雨災害に係る医療救護班の対応についての図上訓練を実施した。また、3月に医療機関の対応についての図上訓練の実施を予定している。</p> <p>〔府中市〕</p> <p>○地区医師会と連携し、災害発生時のEMIS入力について医療機関等へ周知した。</p> <p>○EMIS入力等の災害対応訓練に参加した。</p> <p>〔福山市医師会〕</p> <p>○「医療救護班活動図上訓練・広域災害救急医療情報システム（EMIS）操作訓練」を開催した。（11月24日）</p> <p>○医師を対象とした「下肢深部静脈血栓症のエコーハンズオン研修」を開催予定。（3月頃）</p> <p>○広域災害救急医療情報システム[EMIS(イ-ミス)]入力訓練を福山市災害医療救護協議会と共催で開催した。（6月10～12日、11月12～13日）</p> <p>〔府中地区医師会〕</p> <p>○福山市及び4医師会により、災害時の医療救護活動に関する協定に係る協議を行った。</p> <p>○EMIS入力訓練に参加し、システムの普及啓発に努めた。</p> <p>〔松永沼隈地区医師会〕</p> <p>○関係機関との災害時の医療救護活動に関する協議を行った。</p> <p>○福山市や福山市医師会主催のEMIS操作訓練へ参加し、システムへの理解を深めた。</p> <p>〔深安地区医師会〕</p> <p>○福山市と4医師会により、災害時の医療救護活動に関する協議を行った。</p> <p>○広域災害救急医療情報システム（EMIS）の操作訓練に参加し、EMISの操作について理解を深めた。</p> <p>〔神石郡歯科医師会〕</p> <p>○県歯科医師会、災害対策本部と連携できるように、神石郡内で災害時に会員安否確認・被害状況確認のための連絡網を作成した。</p>	<p>〔福山市医師会〕</p> <p>○EMIS入力訓練への協力率は高く、徐々に認知度が高まってきている</p>	<p>引き続き施策を実施</p>

			<p>〔福山市民病院〕</p> <p>○DMAT 技能維持研修等に参加して、DMAT 隊員の技能向上に努めている。</p> <p>○平成 30 年 3 月に事業継続計画 (BCP) を整備した。また、事業継続計画 (BCP) に基づく訓練を令和元年 12 月 24 日に実施しました。</p> <p>〔中国中央病院〕</p> <p>○病院の B C P 関連施設・設備工事が完了予定である。</p> <p>〔地対協〕</p> <p>○福山市災害医療救護協議会等が主催する EMIS 訓練等を連携して実施した。</p>		
(2) 被災者の健康管理の充実	<p>○ 市町は、保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会等関係団体と連携して、避難所等での感染症のまん延防止、衛生面でのケア、心のケア、口腔ケア等の活動を行います。</p> <p>○ 県は、広島県災害時公衆衛生チームや災害派遣精神医療チームを編成し、被災者の健康状態の把握や相談支援、心のケア等の活動を行います。</p>	<p>〔福山市〕</p> <p>○県こころのケアチームと連携し、支援者向け研修会を実施した。</p> <p>○平成 30 年 7 月豪雨災害被災者の健康調査に係る協定を県と締結し、被災者台帳上で床上浸水以上の被災者世帯に対し、健康調査を実施した。また、調査結果を踏まえ、高リスク者や相談希望者に対し、保健師による訪問や電話による状況確認と支援を行った。</p> <p>○健康調査の結果、ハード面（ポンプ整備等）への要望については、関係部署に情報提供し、市の課題として情報共有した。</p> <p>○災害時の対応について、全保健師を対象に、振り返りと確認のための研修会を（2 回）実施した。</p> <p>〔府中市〕</p> <p>○避難所開設時は、感染症予防として手洗い石けん・ペーパータオル、消毒薬を設置し、チラシを用いて感染予防の啓発を実施。また、保健師による健康巡回相談を実施し、個々の健康状態に応じた相談、エコノミークラス症候群予防の体操を実施した。</p> <p>○7 月豪雨災害による被災者には健康状態のアンケートを実施し、高リスク者に対して訪問、電話によるフォローを実施。継続支援が必要と判断した人には、継続して支援を実施している。</p> <p>〔神石高原町〕</p> <p>○災害や台風により、町内に避難所が開設された際には、感染症を防止、衛生面でのケア、心のケアの観点で取り組みを実施した。</p>		引き続き施策を実施	
(3) 住民への情報提供	<p>○ 県、市町は、広島県災害医療情報システムの活用等により、医師会等関係団体と被災情報の共有を図るとともに、住民への情報提供を積極的に行います。</p>			引き続き施策を実施	

8へき地の医療対策	2	(1)へき地医療の確保	<p>○ 神石高原町立病院及び府中市民病院は、へき地診療所等への支援、広島県北部地域移動診療車等を活用した巡回診療を行い、地域の医療機関と連携し、無医地区等の住民の受療機会を確保します。</p> <p>○ 福山市民病院等は、神石高原町立病院、府中市民病院へ医師を派遣し、へき地医療の支援に努めます。また、県、市町、へき地医療拠点病院等関係機関は連携して、へき地医療を担う医師の確保に努めます。</p>	<p>〔府中市〕</p> <p>○府中市民病院を運営する地方独立行政法人府中市病院機構に対し、へき地医療の推進のために必要な支援（負担金交付）を行った。</p> <p>〔神石高原町立病院〕</p> <p>○巡回診療を実施し、引き続き無医地区の受診機会を確保した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・油屋地区巡回診療 毎月1回（広島県北部地域移動診療車を活用）</li> <li>・豊松巡回診療 毎週火曜日</li> </ul> <p>〔府中地区医師会〕</p> <p>○医師会立訪問看護ステーションサテライトの中山間地域での活動</p> <p>〔福山市民病院〕</p> <p>○中山間地域医療の安心・安全を守るという広域的な視点に立ち、引き続き「へき地医療拠点病院」である神石高原町立病院に、内科・外科（ともに月2回程度）の医師派遣による診療支援を実施した。</p> <p>〔府中市民病院〕</p> <p>○広島県北部地域移動診療車を活用し、準無医地区への巡回診療を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協和地区 毎月第2金曜日</li> <li>・久佐地区 毎月第4金曜日</li> </ul>	〔府中市民病院〕	○巡回診療の受診者数に大きな増減はない。	引き続き施策を実施
		(2)受療機会の確保	<p>○ 府中市はおたっしや号（デマンド型乗合タクシー）の運行により、神石高原町はふれあいタクシー事業による助成により、無医地区等の住民の医療、歯科医療の受療機会を確保します。</p>	<p>〔府中市〕</p> <p>○無医地区（木野山町空木地区）及び準無医地区（上下町岡屋地区及び同階見地区）において「デマンド型乗合タクシー」を運行している。</p> <p>〔神石高原町〕</p> <p>○満75歳以上の高齢者や身体障害者手帳等の交付を受けた方を対象に、町内どこでも定額（600円）にてタクシーの利用可能な制度を継続。町内全域で受療機会の確保を図っている。</p>			引き続き施策を実施
9周産期医療対策	2	(1)医師等の確保	<p>○ 県、市町、医療機関、医師会は連携して、長期的な医師確保に努めるとともに、大学に対して医師派遣への支援を求めています。また、医師の負担軽減を図るため、就業環境の整備に努めます。</p>	<p>〔府中市〕</p> <p>○地方独立行政法人府中市病院機構と連携し、婦人科診療の維持に必要な医師の確保を推進している。</p> <p>○大学病院等に対して医師派遣を要請している。</p> <p>〔福山医療センター〕</p> <p>○令和元年10月に産婦人科医師を2名採用した。</p>			引き続き施策を実施
		(2)周産期医療の充実	<p>○ 医師の高齢化等により、今後、分娩医療機関の減少が見込まれ、安定的に分娩機能を維持・確保するため、分娩医療機関は、リスクに応じた役割分担と連携</p>	<p>〔福山市〕</p> <p>○周産期医療から小児医療に至る医療連携を推進するため、「福山・府中地域小児・周産期医療調整協議会」を新たに設置した。</p> <p>○歯科医師会と連携し、妊婦歯科健康診査を実施し、受診率向上</p>			引き続き施策を実施

		<p>を推進するとともに、公的医療機関は、分娩機能の充実に努めます。</p> <p>○ 県及び市町は、地区歯科医師会と連携して、早産・低体重出産の予防を図るため、妊婦の歯周病予防の普及啓発に取り組むとともに、妊婦歯科健診の推進に努めます。</p>	<p>に努めた。</p> <p>〔府中市〕</p> <p>○妊婦歯科健診の推進 ・個別妊婦歯科健診を実施した。</p> <p>〔府中地区歯科医師会〕</p> <p>○妊婦歯科健診において早産・低体重児出産予防のため妊婦の歯周病予防の普及啓発を行っている。</p> <p>〔福山医療センター〕</p> <p>○ハイリスク出産の危険度が高い母体・乳児に対する更なる機能強化を図り、地域周産期母子医療センターとして、令和元年11月より MFICU3 床を稼働させている。</p> <p>〔中国中央病院〕</p> <p>○助産師外来を開設し、分娩機能の充実に努めている。</p>			
		(3) 周産期母子医療センターの充実	<p>○ 緊急性の高い、よりハイリスクな妊産婦及び新生児への対応が図れるよう、中・長期的な視点から、総合周産期母子医療センターの設置を含めた機能の充実について検討を行います。</p>	<p>〔福山医療センター〕</p> <p>○地域周産期母子医療センターとして令和元年度は12月までにハイリスク妊娠管理1,030件、ハイリスク分娩管理552件を扱った。また、ハイリスク妊産婦緊急搬送について66件の受け入れを行った。</p>		引き続き施策を実施
		(4) 県境を越えた医療連携の推進	<p>○ 当圏域ではよりハイリスクな妊娠・分娩の全てに対応できない状況にあり、また、井原・笠岡地域では分娩医療機関が少ないことから、従来から、消防及び医療機関が連携して、相互に県境を越えた搬送や受け入れを行っており、引き続き、広島・岡山県境を越えた医療広域連携会議等により、当圏域と井原・笠岡地域の周産期医療の情報共有や検討を行い、県境を越えた医療連携の推進を図ります。</p>	<p>〔福山市〕</p> <p>○広島・岡山県境を越えた医療広域連携会議において、関係機関との情報共有等を行う。(1月に文書開催予定)</p>		引き続き施策を実施
10 小児医療（小児救急医療を含む）対策	2	(1) 医師等の確保	<p>○ 行政機関、医療機関、医師会が連携して、長期的な医師確保に努めるとともに、大学に対して医師派遣への支援を求めていきます。また、医師の負担軽減を図るため、就業環境の整備に努めます。</p>	<p>〔福山市〕</p> <p>○岡山大学小児急性疾患学講座（寄付講座）において、小児救急医療体制の課題と解決策に関する調査研究を行うとともに、基幹病院において診療応援を行っている。</p> <p>〔府中市〕</p> <p>○大学病院等に対して医師派遣を要請している。</p> <p>〔福山市医師会〕</p> <p>○現在、大学へは医師派遣の要請をしている。</p>		引き続き施策を実施

		(2) 小児救急医療の充実	<p>○ 福山夜間小児診療所において、夜間帯の小児初期救急医療を確保します。また、入院等が必要な患者への対応に備え、二次救急医療機関等との連携を図ります。</p> <p>○ 小児二次救急医療体制を維持・確保するため、短期的には、小児救急医療に係る大学の寄付講座の継続検討など大学の協力による輪番制の維持を図るとともに、中・長期的には、小児救急医療の高度拠点化を進めていきます。</p>	<p>〔福山市〕 ○岡山大学小児急性疾患学講座（寄付講座）及び小児二次救急医療機関との連携・協力により、輪番制の維持を図っている。 ○小児医療・周産期医療に係る医療機関等の連携を可能とする医療提供体制の構築のため、「福山・府中地域小児・周産期医療調整協議会」を新たに設置した。</p> <p>〔福山市医師会〕 ○福山夜間小児診療所の365日準夜帯の運営を継続し、事例研修会を行うなど二次救急医療機関との連携を図った。</p> <p>〔福山市民病院〕 ○福山・府中二次保健医療圏の小児救急医療について福山地区輪番制当番病院として、休日・夜間の診療体制の維持・確保に参画した。</p>		引き続き施策を実施
		(3) 小児救急医療電話相談の推進	<p>○ 県、市町等は、小児救急医療電話相談（#8000）の周知を積極的に行い、初期及び二次救急病院への不要な受診を抑制し、小児科医の負担軽減を図ります。</p>	<p>〔福山市〕 ○広報紙や広報ラジオ、ホームページで啓発するとともに、緊急連絡先をまとめたマグネットシートやチラシを作成し、赤ちゃん訪問等で配付している。</p> <p>〔府中市〕 ○小児救急医療電話相談の活用について、広報、乳児家庭全戸訪問事業時にチラシの配布等の啓発活動の実施</p> <p>〔福山市医師会〕 ○小児救急医療電話相談の活用について、広報等による啓発を実施した。</p>		引き続き施策を実施
		(4) 県境を越えた医療連携の推進	<p>○ 当圏域と井原・笠岡地域は、従来から、消防及び医療機関が連携して、相互に県境を越えた小児救急患者の搬送や受け入れを行っており、引き続き、広島・岡山県境を越えた医療広域連携会議等により、当圏域と井原・笠岡の小児医療の情報共有や検討を行い、県境を越えた医療連携の推進を図ります。</p>	<p>〔福山市〕 ○広島・岡山県境を越えた医療広域連携会議において、関係機関との情報共有等を行う。（1月に文書開催予定）</p> <p>〔福山市医師会〕 ○現在、医療広域連携会議を通じて、情報の共有や検討を継続して行っている。</p>		引き続き施策を実施
11 在宅医療と介護等の連携体制	2	(1) 退院支援の推進	<p>○ 患者の病状や対応等について、退院前カンファレンスや文書等で入院医療機関と在宅医療を担う医療機関等の円滑な連携により、切れ目のない医療の提供に努めます。</p>	<p>〔福山市〕 ○地域包括ケア資源マップを更新し、在宅医療・介護に関する資源の情報共有を行った。 ○在宅緩和ケア等推進事業（ローズネット）を福山市医師会に委託し、在宅医療・介護に関する相談を行った。 ○「在宅医療・介護連携推進事業」を府中地区医師会に委託し、患者の急変時の対応など在宅医療の体制整備に取り組んだ。</p> <p>〔府中市〕 ○府中市健康地域づくり審議会長寿サポート分科会において、在</p>		引き続き施策を実施

			<p>宅医療を含めた地域包括ケアシステムについて検討した。</p> <p>○入退院時の書式の統一やカンファレンス等、入院初期からの介護支援専門員等介護関係者との連携等により退院後の生活を見据えた退院支援を行った。</p> <p>〔神石高原町〕</p> <p>○入退院支援ルールを作成し、医療介護職員間の情報共有を行っている。</p> <p>〔福山市薬剤師会〕</p> <p>○MSW との連携で退院時カンファレンスへの薬剤師・薬局の選定を含めた参加体制の推進を行った。</p> <p>〔福山市民病院〕</p> <p>○令和元年12月10日「みんなで考えよう！私たちができる退院支援」多職種で行う退院支援の在り方を考える～多方面から支える在宅医療とは～をテーマに、看護連携をすすめる会を開催した。</p> <p>〔日本鋼管福山病院〕</p> <p>○地域連携室および入退院支援室にて、前方連携・後方連携を継続的に実施している。</p>	
	(2) 日常の療養支援の充実	<p>○在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院等在宅医療を担う医療機関は、二次救急医療機関、地域包括支援センター、介護施設等と連携して、在宅療養に必要な医療や介護、福祉サービス等の提供、身体機能及び生活機能の維持向上のためのリハビリの提供に努めます。また、在宅療養を担う関係機関が協働して、包括的かつ継続的に提供できる在宅医療体制を構築に努めます。</p> <p>○訪問看護ステーション等は、看取りや重症度の高い利用者へ対応するため、研修や実習等により看護職員の育成を図るとともに、訪問看護ステーション間や関係機関との連携に努めます。</p> <p>○訪問歯科診療を行う歯科医療機関は、訪問歯科診療を行う歯科医療機関間や在宅医療を担う医療機関等と連携して、一般歯科診療や口腔ケア及び嚥下評価等の食生活支援を行うとともに、ターミナルケア患者への口腔機能管理に努めます。</p>	<p>〔府中市〕</p> <p>○地域支援事業の実施により、多職種の連携体制構築を目指している。</p> <p>○市民病院と地域包括支援センターが連携し専門職種による家庭訪問等を行い生活習慣改善指導等在宅患者の支援を行った。</p> <p>〔神石高原町〕</p> <p>○毎月医療介護従事者による連携上の課題を抽出、対応策等を検討した。</p> <p>〔福山市医師会〕</p> <p>○福山市在宅医療・介護連携推進事業「在宅緩和ケア等推進業務」を受託し、在宅緩和ケア体制の構築・推進のための検討を行った。</p> <p>○相談窓口「ローズネット」を運営し在宅医療・介護に関する相談に対応した。</p> <p>○円滑な在宅療養移行のための「ローズネットシート」の周知・啓発の実施と、運用状況実態調査を行いました。</p> <p>○ACPの普及・推進を目的にACP推進協力員（ACPメイト）ミーティング（勉強会）を開催した。（6月19日、9月30日、12月4日、3月調整中）</p> <p>○ACPの普及・推進と医療機関との連携強化を目的にACP推進協力医療機関を設置した。</p> <p>○ACP推進協力員（ACPメイト）研修会を開催予定。（2月29日）</p> <p>〔府中地区医師会〕</p> <p>○地域支援事業により、多職種連携による在宅医療の提供体制の構築を推進した。</p> <p>○要介護者登録・緊急時対応システムの構築により、24時間登</p>	引き続き施策を実施

		<p>○ 在宅患者訪問薬剤管理指導を行う薬局は、在宅患者訪問薬剤管理を行う薬局間や在宅医療を担う医療機関等と連携して、薬剤師による訪問薬剤管理指導の充実に努めます。</p>	<p>録者の緊急時見守りを実施した。(緊急時往診協力医 18 名)  ○医療機関マップに加え、介護サービス事業所マップをホームページに掲載・更新した。  ○かかりつけ医不在時に、在宅患者や施設入所利用者が突然死亡した場合に備えて、休日前夜(午後6時)から休日翌朝(午前9時)までを、1年間13名の医師が当番制で待機し対応した。  〔松永沼隈地区医師会〕  ○近隣医師会や基幹病院等が行う研修会へ参加し、スキルアップに努めた。  松永沼隈地区医師会在宅医療連携会を開催し、多職種で症例検討を行うことで、顔の見える連携づくりを行った。  ○福山・府中・神石地域訪問看護ステーション管理者会議に出席し、近隣ステーションとの連携強化に努めた。  〔福山市薬剤師会〕  ○広島県薬剤師会主催の在宅支援薬剤師育成研修「I」を福山市にて開催した。  〔福山市歯科医師会〕  ○平成27年10月より訪問歯科診療の紹介事業を開始し、市民や医療・介護施設からの訪問歯科診療の依頼に対し、登録歯科医院を紹介している。  〔府中地区歯科医師会〕  ○訪問歯科診療対応歯科医療機関は多職種と連携して医療提携しているが摂食嚥下等口腔機能管理の充実に努める必要がある。  〔神石郡歯科医師会〕  ○平成30年3月1日に在宅歯科診療連携室を立ち上げたが、依頼が少ないため、地域ケア会議において、再度ケアマネージャー、施設担当者に周知した。</p>		
(3) 急変時の体制の充実	<p>○ 夜間や医師不在時の患者の病状の急変時に対応するため、在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院等在宅を担う診療所は、訪問看護ステーション等と連携して、24時間対応が可能な医療の提供に努めます。</p>	<p>〔神石高原町〕  ○毎月医療介護従事者による連携上の課題を抽出、対応策等を検討した。</p>		引き続き施策を実施	
(4) 看取り体制の充実	<p>○ 在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院等在宅医療を担う医療機関等は、住み慣れた自宅や介護保険施設等での看取りが可能な体制の整備に努めます。</p>	<p>〔府中市〕  ○「ふれあいいいきサロン」の場を活用し市内全域においてACPや終活について認知度の確認を行った。  〔神石高原町〕  ○毎月医療介護従事者による連携上の課題を抽出、対応策等を検討した。</p>		引き続き施策を実施	

	<p>(5) 在宅医療の連携推進</p>	<p>○ 市町、地域包括支援センターは、地域ケア会議等で在宅医療における連携上の課題の抽出や対応策等の検討を行うとともに、地域の医療及び介護、福祉サービスに関する情報を把握し、在宅を担う関係機関と情報共有するとともに、住民への情報提供を積極的に行います。</p>	<p>〔福山市〕  ○在宅医療・介護連携推進会議を行い、在宅医療・介護連携体制の構築について検討した。  ○地域包括支援センター主催による地域ケア会議、行政の主催による自立支援型地域ケア会議を実施した。  ○在宅医療・介護に係る意見交換会を実施した。  〔府中市〕  ○府中地区医師会エリアにおいて介護支援専門員へアンケート調査を行い課題の抽出や対応策を検討した。  〔神石高原町〕  ○地域ケア会議で在宅医療の連携上の課題を検討。  ○毎月医療介護従事者による連携上の課題を抽出、対応策等を検討した。  ○在宅医療を推進するための連携研修会を開催した。  〔福山市医師会〕  ○地域包括ケアを語る多職種連携の集いを開催し、職種の垣根を超えた交流を行った。(10月25日包括南蔵王・坪生・引野エリア)  ○ICT(多職種連携ツール)について、関係機関と検討を行った。  〔府中地区医師会〕  ○地域支援事業の実施により、多職種の連携体制構築を目指している。  〔松永沼隈地区医師会〕  ○地域ケア会議の開催し、福山市西部地区の医療と介護の課題において、みらいプロジェクト(多職種連携会)にて情報共有を図ることができた。  〔地対協〕  ○在宅緩和ケア研修会を開催した。(第1回 令和2年1月15日 福山市民病院)(第2回 令和2年2月5日 福山すこやかセンター)</p>	<p>〔福山市〕  ○在宅医療・介護連携ワーキンググループにて、具体的な取組の内容を検討する。</p>	<p>引き続き施策を実施</p>
--	----------------------	---	---	---	------------------